

# 化学科講演会



## **Professor Mukund P. Sibi**

North Dakota State University, USA

### **Novel Templates for Synergistic Catalysis: Access to Congested Chiral Centers**

日時：令和元年 10 月 23 日 (水) 16:00～17:30

場所：化学科第一講義室

連絡先：矢島知子

Mukund P. Sibi 教授は、ラジカル種やアミン類の共役付加反応、Diels-Alder 反応、1,3-双極子付加環化反応を始めとする数多くの不斉触媒反応の開発に成功されています。また、新規キラルルイス酸触媒や配位補助基の開発にも成功されており、独自の発想に基づく新しいキラリティー制御手法を提唱し続けておられます。

先生はこれまで数多くの賞を受賞されております。例えば最近ですと、下記のような受賞歴があります。

- ◇ 2017 年：第 30 回吉田賞 [30th International Organic Chemistry Foundation (IOCF) Yoshida Lectureship]
- ◇ 2008 年：アメリカ化学会賞 (Arthur C. Cope Scholar Awards)

また、2017 年 (二年前) の日本化学会春季年会において、Sibi 先生は招待講演者として講演されています (CSJ Award Presentations)。また先生は、2003 年と 2009 年に JSPS Fellow として来日されております。

さらに先生は、2008 年から 2011 年の間、大学院教育改革推進プログラム「ヘテロ・リレーションによる理学系人材養成 (hetero GP)」のゲスト・プロフェッサーに選出されており、日本の高等教育の発展に多大なご貢献をされています。

また先生のご興味は、Green Chemistry の分野にも向いておられます。近年先生は、BioMass の新しい活用方法を開発されており、有機合成化学者が sustainable な社会の構築のためのどのように貢献していけるかを提案されていると思います。また、ノースダコタ州立大学と鹿児島大学の間でバイオテクノロジー、ナノテクノロジー、高分子分野に関する共同研究が実施されており、先生はこの中のメンバーで中心的な役割を担っています。

今回プライベートで来日された際に、本学にて講演をしていただくことになりました。講演タイトルは、Novel Templates for Synergistic Catalysis: Access to Congested Chiral Centers です。

## 【URL 集】

- ❑ 第 30 回 吉田賞 [30th International Organic Chemistry Foundation (IOCF) Yoshida Lectureship]  
<http://www.sbchem.kyoto-u.ac.jp/IOCF/activities/activities2.html>
  
- ❑ アメリカ化学会賞 (Arthur C. Cope Scholar Awards)  
<https://www.acs.org/content/acs/en/funding-and-awards/awards/national/bytopic/arthur-cope-scholar-award.html>
  
- ❑ CSJ Award Presentations @日本化学会春季年会・慶應義塾大学  
<http://www3.chemistry.or.jp/nenkai/97haru/5-1.html>  
(別添の添付 PDF 書類の「検索」機能にて、「Mukund P. Sibi」とご入力ください)
  
- ❑ JSPS Fellow  
該当する URL を見つけることができませんでした。申し訳ございません。
  
- ❑ ヘテロ・リレーションによる理学系人材養成 (hetero GP)  
<http://www.s.osakafu-u.ac.jp/hetero-gp/japanese/advisoryboard.html>
  
- ❑ NDSU-KU Joint Symposium on Biotechnology, Nanomaterials and Polymers  
<https://www.ndsu.edu/chemistry/ndsu-ku-symposium.html>